

# ムーンショットで実現する2050年の食と農の世界

～ムーンショット型農林水産研究開発事業キックオフミーティング～

2021年 3月24日(水) 15:00～17:00

オンライン開催

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_L2GuOBnvQhKxaWYGSC7zgg](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_L2GuOBnvQhKxaWYGSC7zgg)  
の申し込みフォームから3月22日までにお申込みください。



2050年には世界の食料需要が1.7倍になると見込まれています。生産力の向上だけでなく環境負荷や食品ロスの問題を同時に解決していく必要があります。

ムーンショット型農林水産研究開発事業は、この問題の解決を目標\*に掲げてスタートしました。プロジェクト参加メンバーはもとより、この問題に関心のある皆様と一緒に未来の食、農業について考える機会にできればと思います。是非御参加ください。

\*ムーンショット目標5：2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出(総合科学技術・イノベーション会議決定)



千葉 一裕 PD  
プログラムディレクター  
東京農工大学 学長



由良 敬 PM  
プログラムマネージャー  
お茶の水女子大学教授



中嶋 光敏 PM  
プログラムマネージャー  
筑波大学特命教授



竹山 春子 PM  
プログラムマネージャー  
早稲田大学教授



大澤 良 PM  
プログラムマネージャー  
筑波大学教授



菊池 隆裕  
モデレーター  
日経BP 総合研究所 上席研究員



齋藤 雅典  
有識者  
東北大学名誉教授



濱田 隆徳  
有識者  
野村アグリプランニング&アドバイザー  
(NAPA) 取締役

## スケジュール

15:00 開会 内閣府 農林水産省

15:05 はじめに 「ムーンショット目標5の実現に向けて」

15:20 パネルディスカッション

第1部 「食品ロス・ゼロを目指す食料消費システム」

- ・昆虫の食料化・飼料化、3D-AIシェフマシンによるパーソナライズド食品の製造について、プロジェクトの紹介・意見交換を行います。

16:00 パネルディスカッション

第2部 「食料供給の拡大と地球環境保全を両立する食料生産システム」

- ・サイバー空間での作物デザイン・強靱化、土壌微生物機能の発揮・解明について、プロジェクトの紹介・意見交換を行います。

16:40 関係機関等からの期待・応援のメッセージ

16:50 ムーンショット型農林水産研究開発事業に対する期待

17:00 閉会

3D

お問合せ先

生物系特定産業技術研究支援センター（生研支援センター）

新技術開発部 戦略的研究開発課

Tel : 044-276-8279

E-mail : brain\_ms@ml.affrc.go.jp

URL: [http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/brain/moon\\_shot/index.html](http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/brain/moon_shot/index.html)

